

報道関係者 各位

平成27年2月5日 日本科学未来館

オピニオン バンク

新展示「細胞たち研究開発中」「OPINION BANK」

iPS細胞などの幹細胞や再生医療について考える生命コーナーが3月20日(金)にオープン

にっぽんかがくみらいかん
日本科学未来館(略称:未来館、館長:毛利 衛)は、5階常設展の生命エリアを全面リニューアルし、新展示「細胞たち研究開発中」、および実験教室「iPS 細胞から考える再生医療」、そして来館者が意見を発信するコーナー「OPINION BANK(オピニオン・バンク)」の3つを3月20日(金)よりオープンします。
今回のリニューアルは、iPS 細胞をはじめ、今まさに“研究開発中”の幹細胞研究や私たちの未来を左右するさまざまな科学技術について、「知る」「実験する」「意見を発信する」という3つをリンクさせた、科学館の新しいアクティビティの提示です。

新展示「細胞たち研究開発中」では、生命の基本単位である細胞の原理が、どのように再生医療につながっているのかを分かりやすく紹介していきます。科学面の監修には、発生生物学の第一人者である浅島誠氏(総合監修)、および山中伸弥氏(名誉監修)、展示のクリエイティブディレクションには様々なメディアのコンテンツ開発で活躍する伊藤ガビン氏、さらに演出協力には、しりあがり寿氏をお迎えしました。来館者の知識と体験の両面で深く残る展示内容となります。

また、展示の公開にあわせて、iPS 細胞のつくり方を知り、その特徴を観察する実験教室も定期的で開催していきます。さらに、来館者が意見を発信するコーナー「OPINION BANK(オピニオン・バンク)」では、iPS 細胞など先端研究を取り巻く倫理的・社会的な問題をとりあげます。

今回一新する生命コーナーでは、iPS 細胞などの幹細胞、そして再生医療について来館者自身が考え、自らの声を発信し、社会に新たな対話を生み出していくことを目指しています。

●展示「細胞たち研究開発中」

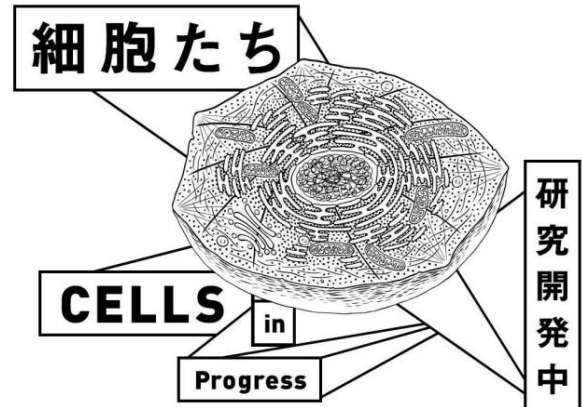
体や生命の操作に直面する近未来を描いたシアター展示により、iPS 細胞などの幹細胞による再生医療を自分のこととして理解・実感していきます。

●実験教室「iPS 細胞から考える再生医療」

iPS 細胞のつくり方や特徴を知り、再生医療について考える実験教室です。

●意見発信コーナー「OPINION BANK(オピニオン・バンク)」

生命科学の分野をはじめ、科学技術を取り巻く諸問題について、来館者が意見を発信するオピニオンコーナーです。



公開日 平成27年3月20日(金)
 場所 日本科学未来館 5階 常設展「世界をさぐる」生命エリア
 開館時間 午前10時～午後5時(入館は閉館時間30分前まで)
 入場料 大人620円、18歳以下210円、団体(8名以上) 大人490円、18歳以下160円
 休館日 毎週火曜日(祝日、GW、春・夏・冬休み期間は開館)、年末年始(12/28～1/1)

一般からのお問い合わせ先	本件に関するお問い合わせ先
日本科学未来館 〒135-0064 東京都江東区青海2-3-6 TEL:03-3570-9151 FAX:03-3570-9150 URL http://www.miraikanjst.go.jp	日本科学未来館 展示企画開発課 広報普及担当 Email: press@miraikanjst.go.jp TEL:03-3570-9192 FAX:03-3570-9150

●新展示「細胞たち研究開発中」

京都大学の山中伸弥教授がヒトの iPS 細胞(人工多能性幹細胞)の作製に成功し、平成 24 年のノーベル生理学・医学賞を受賞したことなどから、体のさまざまな部位に分化できる幹細胞を用いた再生医療に大きな期待が寄せられています。一方、iPS 細胞をはじめ再生医療の効果やリスク、課題、倫理的・社会的な問題については見解が定まっていないことも多く、理解のための努力や社会での議論がまだまだ必要です。

本展示が焦点をあてるのは、生命の基本単位として細胞です。この細胞の原理がどのように再生医療につながっているのかを紹介するとともに、現実味を帯びてきた iPS 細胞などの幹細胞による再生医療について、自分自身の問題として考えるきっかけを提供します。

<展示概要>

展示の中心となるのは、iPS 細胞をめぐる近未来のシミュレーションを体験できるシアターゾーンです。

5 つのシアターの中では、病气や怪我に直面する場面が描かれます。そこで iPS 細胞という選択肢と向き合い、体や生命をコントロールする可能性について考えます。

また、iPS 細胞などの幹細胞研究について、実際の研究内容や研究者の声をパネルや映像で紹介するほか、受精卵から生命が生まれ、体のパーツが形づくられ、維持されている様子を体感します。



シアターで体験できるストーリー

- ・アタシの細胞もなかなかやるわ — iPS 細胞ストックに登録する
- ・もう一度自分の足で歩きたい — 脊髄損傷を iPS 細胞で治したい
- ・自分の時間を取り戻したい — iPS 細胞をブタの体で育て、腎臓をつかって移植する
- ・僕の細胞が、未来を拓くの!? — 筋ジストロフィー研究に自分の細胞を使ってほしい
- ・iPS 細胞から生殖細胞をつくる

<基本情報>

展 示 名	細胞たち研究開発中
場 所	5 階 常設展「世界をさぐる」内
展 示 面 積	約 110 m ²
総 合 監 修	浅島 誠 (日本学術振興会 理事、東京大学 名誉教授、 産業技術総合研究所 名誉フェロー、科学技術 振興機構 CRDS 上席フェロー)
名 誉 監 修	山中 伸弥 (京都大学 iPS 細胞研究所[CiRA] 教授)
監 修	京都大学 iPS 細胞研究所[CiRA]



浅島 誠 氏

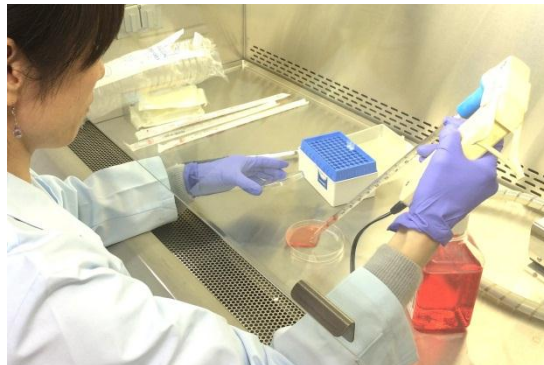


山中 伸弥 氏

●実験教室「iPS 細胞から考える再生医療」

iPS 細胞を扱う実験を通して、現在進行中の幹細胞研究を、実感をもって理解する2つのプログラム。研究の進展がもたらす再生医療技術により、どのような未来が開けるのかをともに考えます。iPS 細胞を観察して理解を深める教室と、iPS 細胞をさまざまな細胞へと変化させる実験を行う教室とがあります。開催は月一回程度です(詳細は未来館 HP をご覧ください)。

監 修: 横林しほり(京都大学 iPS 細胞研究所[GIRA] 特定拠点助教)
場 所: 実験工房クリーン(日本科学未来館 5階)
開 催 日: 平成 27 年 3 月より開始
参加方法: クラブ Miraikan 会員限定、HP より事前申込(抽選)

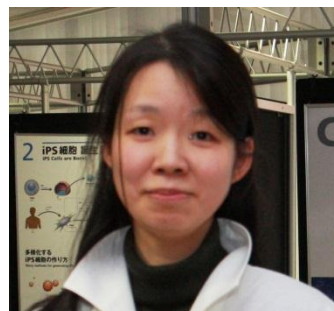


・「iPS 細胞から考える再生医療 — 観察する」

所要時間: 2 時間 30 分
対象年齢: 小学 4 年生以上 募集人数: 各回 16 名

・「iPS 細胞から考える再生医療 — つくる、育てる、観察する」

所要時間: 2 日間 (1 日目 終日、2 日目 2 時間 30 分)
対象年齢: 中学 1 年生以上 募集人数: 各回 8 名



横林 しほり 氏

●意見発信コーナー「OPINION BANK」

オピニオン バンク

未来館では開館以来、先端の科学技術を紹介することに加え、展示を通して来館者が意見を発信できる仕組みづくりにも取り組んできました。今回、5 階常設展の約 210 m²部分を改修し、科学技術に関する最新ニュースを得たり、多種多様なテーマについて自由に来館者が意見を発信できるコーナー「OPINION BANK(オピニオン・バンク)」を開設します。

「OPINION BANK」は、更新性の高いアンケートシステムにより構成され、扱うテーマを限定しません。先端研究分野における社会的・倫理的課題や様々なリスクなど、絶えずテーマを変えながら問いを投げかけることができる設計となっています。たとえば公開時には、iPS 細胞研究に関連し、「ほかの動物でヒトの臓器をつくれるとしたら、あなたはその臓器を自分に移植したいですか」といった問いなどが設定されます。

今後も研究機関や学会と連携して問いの設定を行うことで、集計結果を研究者コミュニティなどに還元していきます。

<基本情報>

展 示 名 OPINION BANK(オピニオン・バンク)
場 所 5 階 常設展「世界をさぐる」内
展 示 面 積 約 210 m²
協 力 科学技術振興機構 科学コミュニケーションセンター
ニュース提供 科学技術振興機構 サイエンスポータル

[オープニング設問協力: 日本再生医療学会、日本リスク研究学会]

